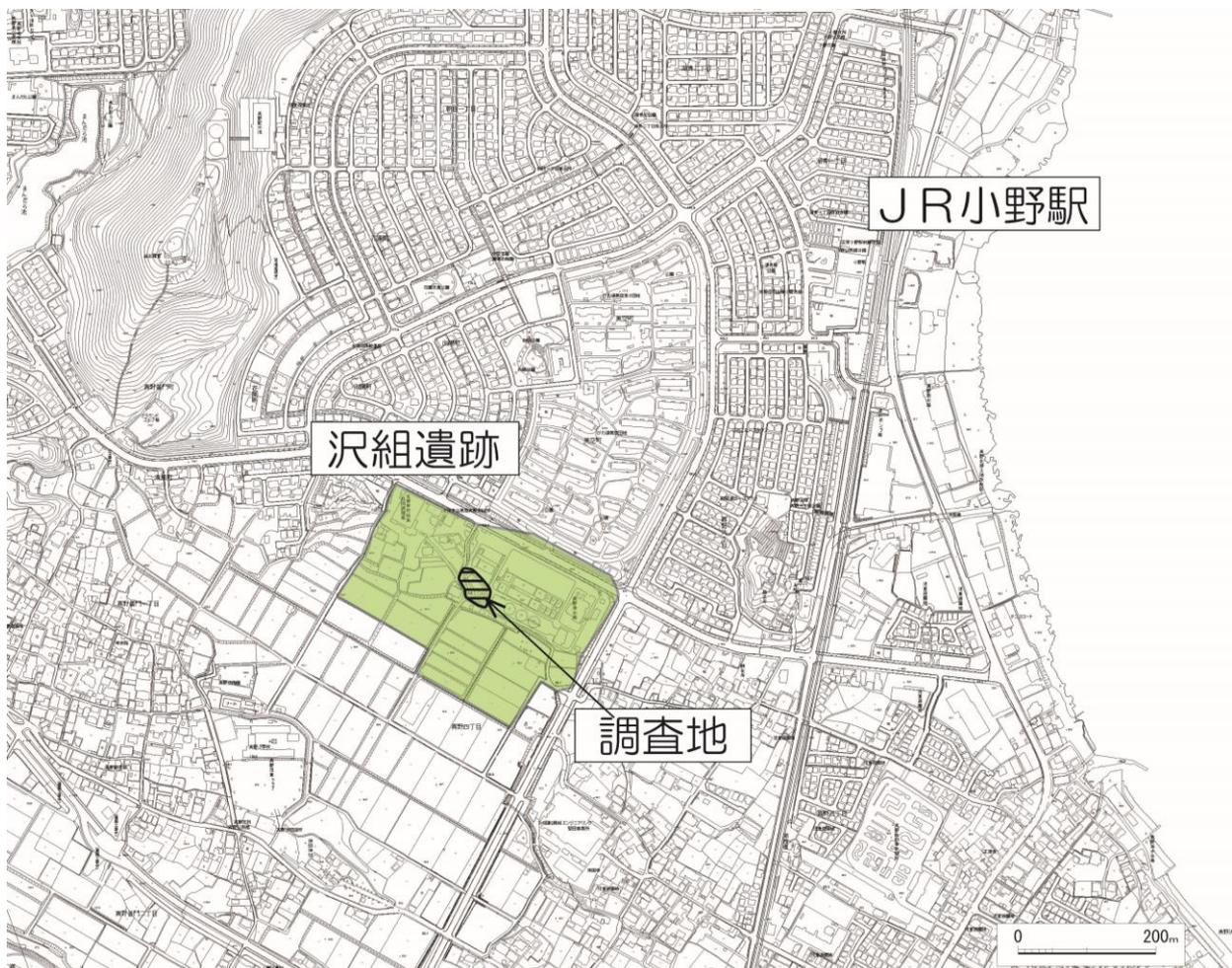




遺跡紹介① さわぐみ 沢組遺跡

大津市真野四丁目に位置する沢組遺跡は、古墳時代～奈良時代の窯跡とされています。これまでに本格的な発掘調査は行われていませんでしたが、大津市が令和6年1月から令和7年1月まで、真野浄水場の敷地改良更新事業に伴う発掘調査を行いました。調査の結果、須恵器すえきを焼いていた窯が3基（1・3・4号窯）検出されました。いずれも、「あながま 窖窯」という斜面を利用したトンネル状の



窯で、その窯で焼いた須恵器が大量に出土しました。

1号窯には窯の内部（焼成部）に須恵器があまり残されておらず、床面や側壁が修復された痕跡が見つかりました。そのことから、窯の壊れた部分を直しながら何度か須恵器を焼成し、窯としての操業が終了した後、出来上がった製品等を完全に取り出した後に崩落したと考えられます。

3号窯には、完全な形の須恵器が100個近く出土し、杯身と杯蓋が合わさった状態で残されていました。おそらくは須恵器を窯から取り出している途中で窯の天井が崩れてしまったと考えられます。また、杯蓋を打ち欠いて焼台とし、その上に焼成する須恵器を置いていたことが分かり、焼成時の窯詰めの方法が明らかになりました。

4号窯では、多くの須恵器が窯の内部に残されていました。それらは破片や不良品が多く、出来上がった良品のみを取り出して、不良品を窯の中に廃棄したと考えられます。

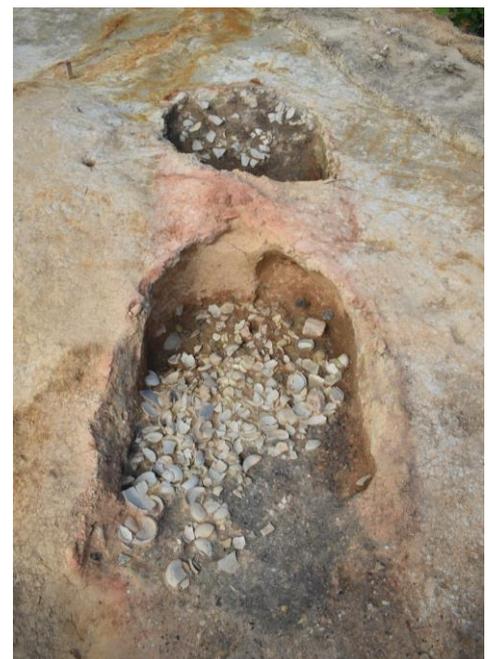
今回の発掘調査では、大変多くの須恵器が出土しました。その種類も杯身・杯蓋・甕・甕・甕・甕・提瓶や子持ち器台など様々で、出土遺物の型式等からみて、6世紀の前半から7世紀前半の約100年間、須恵器の生産を行っていたことが分かります。沢組遺跡の周辺には、同じ時期に曼陀羅山古墳群や春日山古墳群といった古墳群、普門南遺跡・神田遺跡のような集落遺跡があり、これらに供給するために、古墳の副葬品と日用品の両方を製作していたと考えられます。



1号窯 南西より



3号窯 須恵器出土状況



4号窯 南西より

遺跡紹介② ^{あ の う} 穴太遺跡

穴太遺跡は、大津市穴太一丁目・二丁目、唐崎二丁目・三丁目・四丁目、弥生町、下阪本二丁目に広がり、白鳳期の寺院である「穴太廃寺」も含む広大な遺跡です。過去の調査において、^{おおかべたてもの}大壁建物跡や持ち送り式の横穴式石室の古墳が見つかることから、^{とらいじん}渡来人の文化が色濃い場所であることが知られています。

さらに近年、穴太遺跡の範囲で頻繁な土地開発があり、それに伴う発掘調査を行っています。令和4年度に、国内3例目の^{きったん}契丹・^{ぼっかい}渤海製とみられる美しい^{こんどうせい}金銅製花文帯金具が出土し、令和5年度には縄文時代晩期の土器や古代の庭園跡と考えられる遺構が見つかりました。これらのことで、穴太遺跡の原始・古代の様子が少しずつ明らかになってきています。

令和6年度に穴太一丁目と唐崎四丁目にまたがる範囲で、宅地造成に伴い発掘調査を行いました。はっきりとした遺構は不明でしたが、巨石が多く混じっ



た大規模な土石流の痕跡が見つかりました。この土石流の一部を掘り下げたところ、下層から弥生時代前期の土器が出土しました。おそらくそれ以後の弥生時代中期ごろに土石流が発生したと考えられます。



小型丸底壺出土状況

土石流で流れてきた巨石の脇で、祭祀に使用される小型丸底壺こがたまるぞこつぼが完形のものを含めて数点出土しました。これらは古墳時代の初め頃のものと思われ、巨石周辺で祭祀を行っていたと考えられます。今回の調査区から北へおよそ 200m の場所でも、角材を用いた掘立柱建物を板塀ほったてばしらたてもので囲っている遺構いたべいが見つかっており、古墳時代中期ごろの祭祀施設の可能性が高いと考えられています。かつて穴太地域のあちこちで祭祀が行われていたようです。

また、それらの巨石のひとつに「矢穴」やあなが 22 か所もあけられているのが見つかり、その周辺からは中世の土器が出土しました。矢穴技法は主に中世以降使われるようになった石を切り出す技法です。つまり、古墳時代よりもずっと後の時代になってから、巨石を祭祀の場所ではなく石材として見るようになり、矢穴を穿うがって切り出そうとした痕跡といえます。



矢穴痕のある巨石
(東西 3.4m × 南北 2.2m)

これらのことから、弥生時代に土石流によって流されてきた巨石を、古墳時代には祭祀場として利用し、その後、中世になって石材として切り出そうとした様子がうかがえます。

発行：大津市埋蔵文化財調査センター

〒520-0006
大津市滋賀里一丁目 17-23
TEL：077(527)1170
FAX：077(527)1171

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 土・日・祝祭日
年未年始
(12月27日～1月5日)
- 入館料 無料
- 交通 JR湖西線
唐崎駅から徒歩20分
京阪電鉄石坂線
滋賀里駅から徒歩5分